



（写真）Shutterstock “米国のベネズエラ移民と犯罪について分析”

米国でのベネズエラ移民犯罪

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

トランプ大統領は、バイデン政権が大量に受け入れた外国人不法移民が米国の治安を悪化させていると主張。

特にベネズエラを起源とする犯罪組織「Tren de Aragua」を国際テロ組織に指定し、ベネズエラ人が治安悪化の主犯のように扱い、ベネズエラ不法移民を排除しようとする動きは激しさを増している。

本稿では、米国におけるベネズエラ不法移民と犯罪について紹介してみたい。

バイデン政権下でベネズエラ移民が急増

2024年の大統領選当時からトランプ大統領は、ベネズエラ不法移民が米国に大量に入国したことで米国の治安が悪化したと主張している。

同時に、トランプ大統領は、ベネズエラ国内の治安について、「Tren de Araguaのメンバーが米国に流れたことで、治安は改善した」と指摘。マドゥロ政権が犯罪者を米国に送り込み、バイデン政権はそれを阻止しなかったと訴えた。

実際にバイデン政権は、人道的な配慮を理由にベネズエラ不法移民を含めて、他国移民の流入に比較的寛容な政策を執ってきた。

ベネズエラ人の米国入国が拡大したのは、バイデン政権が発足した2021年頃からで、「米国国境保護税関（CBP）」のデータによると、21年にメキシコ国境から米国に入国したベネズエラ人は約4.9万人。

2022年は18.8万人、23年は26.6万人と急増。24年はパナマ・メキシコでの越境コントロール強化もあり、やや減少し、26.1万人だった。いずれにせよバイデン政権下でベネズエラ移民が急増したことは間違いない。

ベネズエラ移民が急増した理由は、バイデン政権が行った移民寛容政策だった。

バイデン政権は、人道的な配慮から2021年にベネズエラの不法移民に「一時滞在資格（TPS）」を与え、米国での居住と就労を許可した。

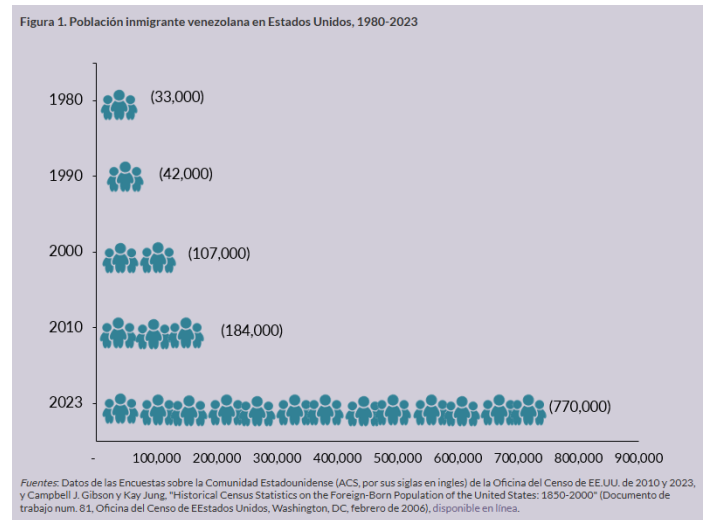
2025年1月時点でTPSを受けて60.7万人のベネズエラ人が米国に滞在・就労しているとされている。

加えて、バイデン政権は「人道特別条件プログラム（CHNV）」という枠組みで、一定の外国人の居住を認めており、CHNVの枠組みで11.7万人のベネズエラ人の米国での滞在を許可していた。

右上の図は、米国におけるベネズエラ移民の推移。

「米国コミュニティ（ACS）」のアンケートによると、1980年に米国に滞在するベネズエラ人は3.3万人だった。

その後、徐々に拡大し、2010年には18.4万人まで増加。それが23年には77万人まで一気に増加している。



（出所）米国コミュニティ（ACS）

トランプ政権の再来 ベネズエラ移民排斥

しかし、トランプ政権の再来でこの流れは180度変わる。

トランプ大統領は、就任後すぐにCHNVの新規受け入れを停止し、CHNVの枠組みで米国に居住しているベネズエラ人を送還しようとしている。

また、2025年2月にTPSの延長停止を決定。25年4月2日に約35万人、同年9月10日に約25万人のTPSが失効する見通しとなっている。

TPSが失効したベネズエラ人は別のステータスに乗り換えることが出来ない限り、不法移民として拘束の対象になる。

更にこの状況に追い打ちをかけるのは、「敵性外国人法」の導入である。

トランプ大統領は、“ベネズエラ系の国際テロ組織「Tren de Aragua」が米国の安全を脅かし、我が国領土を侵略しようとしている”として Tren de Aragua 構成員の送還を迅速化するために敵性外国人法を施行すると発表した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1191](#)」）。

これにより Tren de Aragua の構成員の可能性のある
14 歳以上のベネズエラ人は米国から他国に追放さ
れるという。

加えて、ベネズエラを含む11カ国（アフガニスタン、ブータン、キューバ、イラン、リビア、北朝鮮、ソマリア、スーダン、シリア、イエメン、ベネズエラ）の国民の入国を禁止する法律の施行を検討しているようで、ベネズエラ人に対するトランプ政権の風当たりは極めて厳しいと言える。

なお、米国はマドゥロ政権をベネズエラ政府と認識しておらず、グアイド暫定政権の解散後、在米ベネズエラ大使館は閉鎖している。

米国に滞在するベネズエラ移民は、米国内でパスポートを更新することが出来ず、メキシコまで足を運ぶ必要がある。しかし、現在のトランプ政権の対応を見る限り、一度メキシコに移動したベネズエラ人が米国に戻るのには容易ではないだろう。

TPS や CHNV の枠組みで米国に滞在しているベネズエラ人の状況は八方ふさがりと言える。

Tren de Aragua 実態見えない不安感

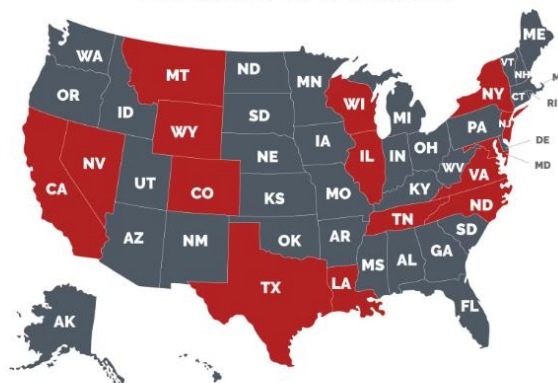
米国で Tren de Aragua の存在感が大きくなっていることは確かだろう。多くの米国人が Tren de Aragua が米国の治安を悪化させていると感じているようだ。

米国の国土安全保障省によると、Tren de Aragua は少なくとも米国16州で活動をしているという（下図の赤色の地域が Tren de Aragua の活動実態があるとされる州、ただしフロリダ州が塗られていないが、間違いだろう）。

Tren de Aragua の活動が特に活発な地域としては、
ニューヨーク、マイアミ、ロサンゼルスが挙げられて
いる。

LA EXPANSIÓN DEL TREN DE ARAGUA EN EEUU

Las autoridades han confirmado que la peligrosa pandilla ha extendido actividades criminales en 16 estados.



ESTADOS CON PRESENCIA DEL TREN DE ARAGUA

FUENTE: DEPARTAMENTO DE SEGURIDAD NACIONAL DE LOS ESTADOS UNIDOS/NEW YORK POST

infobae

(写真) Infobae

Tren de Aragua の具体的な活動は、「自動車窃盗」「強盗」「金融詐欺」「売春あっせん」「麻薬取引」などが挙げられる。

Tren de Aragua の構成員が起こしたとされる事件の一例として、2023年8月にバージニア州で Tren de Aragua の構成員が店舗に強盗に入り、店の商品を奪って逃走したという。

他、フロリダ州で偽の小切手を使用し、11.8万ドルを不正に引き出したという。なお、この資金は最終的にベネズエラに流れていたという。

ニューヨーク州では、Tren de Aragua が Queens の ルーズベルト通りで売春あっせんに関与していたという。

麻薬取引に関しては、テネシー州で地元の犯罪者集団と同地域のコントロールを争い抗争が起きたという。

ただし、様々な記事を読んだ限り、Tren de Aragua の構成員かどうかを判断する手段は乏しいという。

外交関係の断絶により、米国とベネズエラの犯罪者情報の共有は長年停止しており、ベネズエラ側の犯罪履歴を確認する手段が無い。

そのため逮捕した人物の犯罪履歴は不明で、自白、第三者の証言、あるいは Tren de Aragua の構成員がしているタトゥー（右の写真）など、一部はあいまいな基準で構成員かどうかを判断しているようだ。

直近では、トランプ政権が Tren de Aragua の構成員を含む250名超をエルサルバドルに送ったことで話題になったが、実際のところ、この250名超のうちどれくらいの数が Tren de Aragua のメンバーかは定かではないという。

その意味で、米国政府も Tren de Aragua の活動を正確に把握できておらず、実態が分からない不安感が存在を大きく見せている側面はありそうだ。



（写真）U.S. Border Patrol

ベネズエラ移民と犯罪の関係は統計上不明

これまでの内容を読む限り、ベネズエラ不法移民の増加で米国の治安が悪化したように見えるが、統計上は逆の結果になっている。

2024年6月に米国の「連邦捜査局（FBI）」が公表したデータによると、2024年1～3月の米国の暴力的な犯罪件数は前年同期比15.2%減少していたという。

「殺人」は同13%減、「暴行」は同6%減、「自動車強盗」は同17.3%減など治安の改善がみられるようだ。

2021年から犯罪件数は減少傾向にあり、米国の General Merrick 検事総長は「米国内での暴力的な犯罪は減少傾向にある」と指摘している。

しかし、Gallup が2023年12月に実施した世論調査では、77%の米国人が「犯罪率は増加した」と回答しており、国民の感覚は統計と違うようだ。

他、一般犯罪とベネズエラ移民の関係もはっきりしていない。

以下表はベネズエラ人が多い米国の都市のリストである。ASC のデータによると、マイアミ、オーランド、ヒューストンの3都市に48%のベネズエラ移民が集中しているという。

一方、BBC が FBI のデータから作成した「米国の犯罪が多い地域トップ10」は以下の通り。

1. ミズーリ州サンルイス
2. ミシガン州デトロイト
3. メリーランド州バルティモア
4. テネシー州メンフィス
5. ミズーリ州カンザスシティ
6. ウィスコンシン州ミルウォーキー
7. オハイオ州クリーブランド
8. カリフォルニア州ストックトン
9. ニューメキシコ州アルバカーキ
10. インディアナ州インディアナポリス

これら10都市は、ベネズエラ移民の集積地と一致していない。

Tabla 1. Principales áreas metropolitanas de residencia para inmigrantes venezolanos en Estados Unidos, 2019-23

Área metropolitana	Población inmigrante de Venezuela	Porcentaje de la población del área metropolitana
Miami-Fort Lauderdale-West Palm Beach, FL	174,000	2.8%
Orlando-Kissimmee-Sanford, FL	66,000	2.4%
Houston-Pasadena-Los Woodlands, TX	51,000	0.7%
Nueva York-Newark-Ciudad de Jersey, NY-NJ	32,000	0.2%
Atlanta-Sandy Springs-Roswell, GA	20,000	0.3%
Dallas-Fort Worth-Arlington, TX	20,000	0.3%
Tampa-St. Petersburg-Clearwater, FL	18,000	0.6%
Chicago-Naperville-Elgin, IL-IN	14,000	0.1%
Washington-Arlington-Alexandria, DC-VA-MD-WV	10,000	0.2%
Los Angeles-Long Beach-Anaheim, CA	8,000	0.1%

Fuente: Tabulación del MPI de los datos de la Oficina del Censo de los EE.UU. 2019-23 ACS.